

まちづくり交付金 事後評価シート
那珂川河畔地区

平成21年3月
栃木県大田原市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	栃木県		市町村名	大田原市		地区名	那珂川河畔地区			面積	287ha		
交付期間	平成16年度～平成20年度		事後評価実施時期	平成20年度		交付対象事業費	1,621百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(3路線)、公園(2箇所)、地域生活基盤施設(プロムナード、街角スポット、休憩所、案内標識)、高質空間形成(プロムナード、街角スポット)、高次都市施設(観光交流センター)										
		提案事業	商店街活カアップ事業										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤(街角スポット、コミュニティ広場)、高質空間形成(公園、公園入口、公園駐車場、街角スポット、茶屋、プロムナード2箇所)			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業	あじさい祭り支援事業 芭蕉の里全国俳句大会支援事業			例年行っている事業であり、交付対象外であるため			影響なし				
	新たに追加した事業	基幹事業	なし										
提案事業		芭蕉公園内旧浄土寺邸整備事業			黒羽らしいアイデンティティを確立させる施設として整備する必要があるため			影響なし					
交付期間の変更	当初	平成16年度～平成20年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
	指標1	ボランティア参加者数の増加	人/年	250	H15	325	H20	307	500	○	ありなし	住民が地域に対する愛着を持つことができ参加者数の増加に繋がった。	H21年3月頃
	指標2	観光客入込数の増加	人/年	470,834	H10～H14	494,500	H20	475,791	500,000	○	ありなし	街角スポット、公園、散策・回遊ルート形成により地域資源を磨き上げることができた。	H21年6月頃
	指標3	歩行者交通量の増加	人/年	60,000	H14～H15	78,000	H20	69,987	76,000	△	ありなし	● 全事業が完了しておらず、目標に届いていないが、増加傾向であることは評価できる。	H22年3月頃
	指標4										ありなし		
	指標5										ありなし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	本事業の実施に伴い、住民のまちづくりに対する意欲が大きく向上し、行政との協力関係が強化された。												
5)実施過程の評価	実施内容												
	モニタリング	平成18年度末での数値指標記録による確認			実施状況				今後の対応方針等				
	住民参加プロセス	堂川プロムナード周辺整備促進会議の開催			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 事業の進捗を図る				
	持続的なまちづくり体制の構築	堂川プロムナード周辺整備促進会議の開催 那珂川をきれいにする会におけるボランティア活動(河川清掃)			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 市民の意見を参考にしながら地区の活性化を支援していく ボランティア組織と連携を図りながら地区の活性化を支援していく				

様式2-2 地区の概要

那珂川河畔地区(栃木県大田原市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標 川を玄関とした地域資源の活用を促めながら、地域住民に愛着と誇りの持てる街づくりを推進する。 目標1 界隈性の創出 目標2 回遊性の創出 目標3 にぎわい性・魅力性の創出	ボランティア参加者数の増加	単位:人/年	250 H15	325 H20	500 H20
	観光客入込数の増加	単位:人/年	470,834 H10~H14	494,500 H20	500,000 H20
	歩行者交通量の増加	単位:人/年	60,000 H14~H15	78,000 H20	76,000 H20
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H

商店街活カアップ事業

黒羽観光交流センター

芭蕉プロムナード

ボランティアによる那珂川清掃

堂川プロムナード

散策道休憩所

■基幹事業 道路 市道西崖線

■基幹事業 公園 西崖水辺の森公園

■基幹事業 地域生活基盤施設 芭蕉プロムナード

○関連事業 市道金丸線道路整備事業

■基幹事業 地域生活基盤施設 散策道案内標識設置

■基幹事業 道路 堂川プロムナード(市道旭町堂川線)

○提案事業 まちづくり活動推進事業 商店街活カアップ事業

桜づつみの整備

■基幹事業 公園 桜馬場公園

○関連事業 特定環境保全公共下水道事業 新地域経済基盤強化事業 緊急地方道路整備事業

■基幹事業 高質空間形成施設 田町交差点街角スポット

■基幹事業 高質空間形成施設 田町交差点街角スポット

■基幹事業 地域生活基盤施設 散策道休憩所

■基幹事業 高次都市施設 黒羽観光交流センター 黒羽・川西コミュニティセンター

○関連事業 黒羽支所整備事業

■基幹事業 道路 大宿街道(市道風呂ノ下線)

■基幹事業 高質空間形成施設 お城山プロムナード

○提案事業 地域創造支援事業 芭蕉公園 旧浄法寺邸整備事業

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 街角修景整備や公園整備、旧浄法寺邸整備等により、地域資源を活用した黒羽らしいアイデンティティが確立された。 市道西崖線やプロムナード、休憩所等の整備、案内標識設置により、回遊性が向上した。 観光交流センターの完成により、地元物産・特産品を紹介でき、商店街としての魅力を観光客に対しPRする活動拠点ができた。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源を利用したイベントを開催し、インターネット等で地区の魅力を積極的にPRするなどし、観光客の増加を図る。 さらなる回遊性向上のために、道路改良等により車道と歩道を分離するなど、歩行者空間を確保するよう努める。 地域拠点等ハード面は整備されたので、それらを活用しながら商店街中心のイベントを開催し、行政は側面支援を行い商店街の賑わいを創出する等のソフト面の取り組みを図る。 商店街の後継者問題を行政が側面から支援しながら、周辺地区と連携した事業を実施することで地域資源に付加価値をつけ、地域の活性化に努める。